

防犯、高齢者支援活動を進める

小児科
32-7327
あさひ野シニア
センター
あさひ野3-1-2
www.1600.jp
片倉町
1318



東京都八王子市
片倉台自治会





人々が安心して暮らせる地域をつくっていくことは、自治会にとっても大きな課題。とくに日中や夜間に人通りの少ない住宅街では、空き巣などの窃盗や子どもを対象にした犯罪を未然に防ぐための日常活動の必要性は言うまでもない。

東京都八王子市にある片倉台自治会では、「犯罪を防ぐには、とにかく数で対抗する」と同自治会防犯・防災委員長の下村さんが言うように、きめ細かな地域の見回り活動を展開し、安全な街づくりに効果を上げている。

八王子警察署の統計資料によると、平成十五年十月の一月間で、六件の空き巣があったという。最近、八王子市や町田市の東京都市部は窃盗犯などの犯罪が高い地域とも言われている。窃盗犯が区部から流れ込んでいるという指摘もある。そんななか、同自治会が同年の十一月から始めたのが「わんわんパトロール」。「犬の散歩中に腕章をつけて歩く」ということで、犯罪の抑止効果もあると始められた。いまでは、全国的に広がったわんわんパトだが、片倉台自治会のわんわんパトは全国的にも早い段階での導入といえる。現在では、百三十四匹ほどの愛犬が、朝夕の散歩時、時にはコースを変え、時には通学時間帯にあわせるなどの工夫をしながらパトロールしている。それと並行して始めたのが「防犯パトロー



ル」。毎日夜八時から一時間にわたり、町内を縦貫している。あわせて自動車による巡回も実施。この結果、窃盗などの犯罪は極端に減っているという。

もう一つ、この自治会で注目されるのが「福祉ネットワーク」。

片倉台自治会は、世帯数およそ千六百、人口五千の戸建の団地。二十五年ほど前から造成が始まった。ほかの団地と同様、入居当時は若かった住民も年月を重ねるなか、次第に高齢化していった。いまでは六十五歳以上の人が全住民の二〇％を超えているという。高齢化の兆しが見えた平成九年、「この片倉台で老後を安心して、安全に過ごすために自治会としては、何をすべきか？」と、当時の自治会会長は、自治会のなかに組織されている福祉委員会に問題提起をした。

この問題提起を受けた福祉委員会では、「班長が一年毎の輪番制で運営されているなかでは、恒常的な支援活動は無理がある。輪番制に変わるボランティアを中心にした組織を立ち上げるべき」との構想をとりまとめ、開設準備室を発足させた。ここでは、全世帯へのアンケート調査や「考える集い」を開催するなかで、住民のニーズ把握に努めた。そして、平成十二年、自治会のなかに「福祉ネットワーク」を立ち上げ活動を開始した。発



足当初は、住民からの要望を受け、ボランティアの人に橋渡しをするコーディネーターが、携帯電話を持ち対応したというが、現在では、自治会館内に専用電話を設置。十二名のコーディネーターが週三回輪番制で詰めている。具体的な支援活動としては、植木の水やり、電球の取替え、ゴミ出しなどなど。因みに、依頼者は一時間につき二百円（水やりやゴミだしは一回五十円）を払う。ボランティアは交通費などの実費以外は受け取らず、得た収入は会計に入るといしくみ。しかし、残念ながら一部には、隣近所の人に自分の家をのぞかれたくないという声もあるという。このような声に對し、隣街にも同様のネットワークを立ち上げてもらい、そこと相互に連携をはかる中で、対応していきたいとの考えもある。

今、多くの自治会で共通した課題となっている高齢者支援、地域の安全確保に片倉台自治会は果敢に挑戦している。

連絡先

片倉台自治会館

〒192-0914 八王子市片倉町1221-25

TEL0426-35-6973

<http://www.katakuradai.jp/jitikai/jitikai.html>